

## 次号予告

### 特集 大学入試と大学問題

- 共通第1次学力試験における受験者の学力特性  
 ……山田 文康(大学入試センター)
- 客観式テストを用いた大学入試選抜シミュレーション  
 ……鈴木 規夫(大学入試センター)
- 受験生の志望校併願データから導かれる国立大学のランク付け  
 ……田口 東(山梨大学)
- システムとしての大学  
 ……椎塚 久雄(工学院大学)
- 教育計画からみた大学の役割  
 ……矢野 眞和(東京工業大学)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- |      |        |                    |
|------|--------|--------------------|
| 委員長  | 若山 邦紘  | 法政大学               |
| 副委員長 | 浦谷 規   | 法政大学               |
| 委員   | 相沢 りえ子 | 情報構造計画研究所          |
|      | 上野 哲郎  | 和光大学               |
|      | 大村 雄史  | 住友商事㈱              |
|      | 片山 隆仁  | 防衛庁                |
|      | 川合 庸一  | 川合産業研究事務所          |
|      | 木嶋 恭一  | 東京工業大学             |
|      | 小池 将貴  | 筑波技術短期大学           |
|      | 逆瀬川浩孝  | 筑波大学               |
|      | 坂本 善博  | 富士通㈱               |
|      | 新村 秀一  | 住商コンピュータサービス㈱      |
|      | 町原 文明  | 日本電信電話㈱            |
|      | 宮田 雅智  | 青山学院女子短期大学         |
|      | 吉田 敏弘  | ソロモン・ブラザーズ・アジア証券会社 |

**編集後記** ●ある人々は、SISなど是一種の熱病であり、昭和40年代のMISと同じ運命をたどると言っています。確かに、最近、SISという言葉が学会発表で聞いたり、紙面上で見たりする機会が一時期よりは少なくなったように思われます。では、本当にSISはブームにすぎなかったのでしょうか。否、本特集号を読んでいただいてもわかるように、SISは着実に浸透しつつあるのです。初期のSISの論議では、SISで成功したとされる企業がいくつかとりあげられ、その成功の大まかなパターンを分析することにより、どのようなSISを構築し活用すれば生き残れるのかというような一般論が大多数でした。しかし、現在では多数の企業が個別の事情に応じて情報システムを構築し、情報をいかに利用するかについて地道に検討実行しています●これから期待されるのは、SISのより具体的かつ詳細な個別の研究です。個々の企業で実際に生じているいろいろな問題点およびその解決法に関する研究です。その問題点には、

純技術上の問題点と組織上の人間が関係する問題点があります。純技術上の問題点は、システムの専門家にまかせておけばよいでしょう。しかし、組織上の問題点は人間がからんでいますので、技術屋さんには苦手とする人が多いようです。たとえば、新しいシステムの導入により自分のパワーが減少する恐れをいだく人は、システムの導入に種々の手段を使い抵抗します。また、自己に有利なように、インプット情報の操作も現実にはしばしば行なわれたりします。これらの問題の解決は、純技術上の問題点の解決より、ある面では重要になりつつあります。なぜなら、企業にとっては、SISは構築され、利用され、その生み出す情報が生きなければ意味がないからです。そして、これらの解決には、組織論、経営管理論、人間関係論その他種々の学問領域の協力が必要です。すなわち、これからのSISの論議には、より広範な領域からのより詳細な検討がますます必要となってきます。決してSISは消え去りません。(上野哲郎)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成4年3月号 第37巻 第3号 通巻375号

代表者 岡 久雄

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
 電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 若山 邦紘

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体822円、郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ